

ユニット名	島根大学陸上競技部 S.C.A.R.E(スクエア) Shimadai Sports Club for Action, Responsibility & Environment
代表者	陸上競技部 主将 松下玲旺
達成に資するSDGs目標	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう
活動概要	本ユニットでは、島根大学陸上競技部が母体となって運営する「島大スポーツクラブ」の活動を通じて、SDGsの理念に基づいた持続可能な地域づくりおよび人材育成に貢献することを目的とする。昨年度は、地域スポーツ支援、環境保全活動、情報発信の三つを柱として活動を実施してきた。今年度も、これらの活動を継続しながら、地域との連携強化や活動規模の拡充を図り、より発展的な取り組みを展開する。 ① 地域スポーツ支援と健康増進の推進(SDGs 3・4・5・11) 本クラブの強みである陸上競技部による基本的運動の指導を基盤とし、新たに体操競技部、硬式テニス部と共に幼児・児童を対象としたスポーツ教室を月3回程度開催する。また、地域の子どもたちや保護者が参加できる陸上大会を年2回(5月・11月予定)開催し、スポーツを通じた地域交流の促進を図る。さらに、小学校や地域スポーツ団体との連携も視野に入れ、スポーツ教育の機会拡充を目指す。加えて、毎年3月に開催される 松江レディースハーフマラソン にあわせ、女性アスリートや女性のスポーツ参加を推進することを目的とした特別な陸上教室の開催についても検討する。 ② 環境・資源保全への貢献(SDGs 12・13・14・15) 日常的に利用している競技場およびその周辺地域において、練習開始前において清掃活動や草刈りを実施し、地域環境の美化と保全に取り組む。また、昨年度の競技用シューズ寄贈に加え、ウェアなどの中古スポーツ用品のリユース活動(寄贈・交換会、11月予定)を継続して行い、スポーツ活動における廃棄物削減と資源循環の促進を図る。さらに、遠征や合宿の際には各自がマイ歯ブラシを持参することを推奨し、宿泊施設で提供される使い捨てアメニティの使用削減にも取り組む。 ③ 情報発信と大学・地域のSDGs推進(SDGs 17) 活動内容や成果をSNS、学内広報、地域紙等を通じて定期的に発信し、スポーツを通じたSDGsの取り組みを学内外に広く共有する。また、活動の成果をまとめた報告を作成し、大学や地域社会へ発信することで、本ユニットの取り組みが他の学生団体や地域クラブのモデルケースとなることを目指す。さらに、地域団体や教育機関、行政機関との連携を強化し、スポーツを通じた持続可能な地域づくりの実現に貢献する。
主な連携先 (予定を含む)	一般社団法人 島根陸上競技協会(普及・育成部との連携)
成果物の公表予定、 社会への波及効果	本ユニットの活動では、SDGsの理念を取り入れたプログラムを実践し、島根大学陸上競技部が「学生主体のスポーツ団体による地域貢献」の先進的なモデルケースとなることを目指す。今年度は、活動の質の向上と継続性の確立、ならびに組織としての統一を重視し、各活動軸とSDGs目標に基づき、成果の可視化と波及効果の最大化を図る。 ① 地域スポーツ支援と健康増進の推進(SDGs 3, 4, 11) 地域の幼児・児童を対象とした陸上教室や大会、関連イベントを継続的に実施する。あわせて、指導内容の体系化と役割分担の明確化を進め、質の高い指導体制を構築する。また、公式SNSや地域メディアを活用した情報発信を強化し、活動の認知拡大と参加者の増加を目指す。さらに、学内外での発表機会を活用し、好事例の共有と地域連携の強化を図る。 ② 環境・資源保全への貢献(SDGs 12, 15) 競技場周辺の清掃活動や、シューズ・ウェアのリユース企画を継続的に実施し、活動の定着化を図る。特に、部員全体の参加意識の向上と継続的に取り組む仕組みづくりを進める。また、活動の様子を定期的に発信し、環境配慮型の部活動としての意識を内外に浸透させるとともに、他団体への展開を促す。 ③ 情報発信と大学・地域のSDGs推進(SDGs 17) 年間の活動を体系的に整理し、報告書として発信する。また、公式SNSを活用したリアルタイムな情報発信を継続的にを行い、発信内容の統一と質の向上を図る。これにより、学生主体によるSDGs実践のモデルとしての発信力を高め、学内外の団体や地域社会との連携強化につなげる。